第1章　新時代の方言調査法 …… 1
1.1　はじめに …… 1
1.2　現代方言・現代社会のすがたに応じた調査法 …… 1
(a)　インフォーマント …… 3
(b)　調査法 …… 7
1.3　方言の調査・研究における新しい道具 …… 12
(a)　音声のデジタル化技術の発達 …… 12
(b)　高度情報化時代のデータ収集・成果発表 …… 16
1.4　研究者の社会的責任 …… 22
(a)　インフォーマントに対する倫理的問題 …… 22
(b)　研究成果の社会への還元 …… 33
1.5　おわりに …… 35
参考文献 …… 36

第2章　方言データベースの作成と利用 …… 39
2.1　方言研究におけるデータベース …… 39
2.2　方言データベースの種類と概要 …… 40
(a)　音声データベース …… 40
(b)　語形式のデータベース …… 43
(c)　文表現(文単位)のデータベース …… 45
(d)　談話データベース …… 46

(e) 民話・昔話集 …… 49

2.3 方言談話データベースの作成 …… 50

(a) 目　的 …… 50
(b) 内　容 …… 51
(c) 許　諾 …… 51
(d) 録　音 …… 52
(e) 録　画 …… 53
(f) 文字化・共通語訳 …… 53
(g) タグ・その他情報 …… 55
(h) 媒　体 …… 55
(i) 保　存 …… 56
(j) 著作権 …… 57
(k) 公　開 …… 57
(l) 共　有 …… 58
(m) 維持・管理 …… 59

2.4 方言談話データベースを利用した方言研究 …… 59

(a) 文アクセントの構造 …… 60
(b) 文法形式の全国分布 …… 61
(c) 文法形式の地域的な出現状況 …… 61
(d) 談話の構造 …… 62
(e) 談話の展開 …… 63
(f) 言語行動 …… 64

2.5 『全国方言談話データベース』に見る
方言のオノマトペ …… 66

(a) 資料と方法 …… 67
(b) 収集した用例——品詞，語構成上の特徴など …… 68
(c) 方言特有オノマトペの出現状況 …… 71
(d) 地点別出現数 …… 75

(e) オノマトペが多く現れる談話 …… 76
(f) まとめ …… 86
参考文献 …… 88

第3章 パソコンで作る方言地図 …… 91

3.1 パソコン方言地図とは？ …… 91

3.2 パソコン方言地図小史(地図の変遷) …… 93

(a) 徳川宗賢氏の試み …… 93
(b) GLAPS (Generalized Linguistic Atlas Printing System) …… 94
(c) コンピュータプログラミングによる糸魚川言語地図 …… 95
(d) EGL (Editor for Geographical Linguistics) …… 96
(e) SEAL (System of Exhibition and Analysis of Linguistic Data) …… 96
(f) 高橋顕志氏による言語地図 …… 98
(g) 国立国語研究所による方言文法地図 …… 99
(h) MANDARA を利用した方言地図 …… 100
(i) ダニエル・ロング氏による方言認知地図 …… 101
(j) 田原広史氏による方言地図 …… 102
(k) 音声方言地図(声の言語地図) …… 103

3.3 パソコン方言地図とデータベース …… 104

(a) データベースによるパソコン方言地図 …… 104
(b) 方言データベース地図の作り方 …… 106

3.4 パソコンによる音声方言地図 …… 119

(a) 音声方言地図の意義 …… 120
(b) 記号方言地図から音声方言地図へ …… 121
(c) 音声方言地図の作り方 …… 122

3.5 音声方言地図のネットワーク化構想 …… 128

(a) 音声方言地図とデータベース …… 128

(b)　音声方言地図のネットワーク化構想 …… 128
参考文献 …… 130
第4章　地理情報システムと方言研究 …… 135
4.1　はじめに …… 135
4.2　地理情報システム(GIS)とは何か …… 136
(a)　GISとは …… 136
(b)　システムからサイエンスへ …… 137
4.3　方言と地理情報 …… 137
(a)　方言情報の構造 …… 137
(b)　GISが扱う地理情報 …… 138
4.4　GISによる方言分布の分析(1)
——標高データの利用 …… 139
(a)　動詞否定辞の分布 …… 139
(b)　方言分布と標高 …… 140
(c)　方言分布を立体視(3D化)する …… 145
4.5　GISによる方言分布の分析(2)
——人口データの利用 …… 149
4.6　GISによる方言分布の分析(3)
——複数言語地図の重ね合わせ …… 151
4.7　GISを通して考える東西対立 …… 157
4.8　GIS導入準備 …… 159
(a)　導入の留意点 …… 159
(b)　方言データの地理情報化
——アドレスマッチングと方言情報のデータ化 …… 160
(c)　言語外地理情報の取得 …… 164
(d)　まとめ …… 167

4.9　GIS の実践 …… 167
(a)　GIS プログラム MANDARA の準備 …… 167
(b)　基本用語 …… 168
(c)　MANDARA で地図を描く …… 169
(d)　MANDARA でオーバーレイを行う …… 173
4.10　むすびと展望 …… 175
参考文献 …… 176
第5章　方言を量る方法 …… 179
5.1　はじめに …… 179
5.2　データの問題 …… 179
(a)　質的データ …… 180
(b)　量的データ …… 180
(c)　方言データの性質 …… 181
5.3　計量的方言研究の成果 …… 182
(a)　社会的研究への多変量解析の適用 …… 182
(b)　地理的研究への多変量解析の適用 …… 195
5.4　多変量解析の適用例 …… 202
(a)　宮城県放射状グロットグラム …… 202
(b)　データ …… 204
(c)　分析結果 …… 205
5.5　おわりに …… 213
参考文献 …… 213